

Security Platform

守るだけじゃない。-物理セキュリティ-

株式会社セキュア（証券コード：4264）

Anna

- Age : 28
- Job : Full Time
- Sex : Woman

↓ 35.5" | ❤️ bpm 65 | 57%

Jessica

- Age : 26
- Job : Full Time
- Sex : Woman

R1

90% Note ✓

SECURE

Financial results for the fiscal year ending December 2023

2023年12月期決算説明資料

Feb 14, 2024

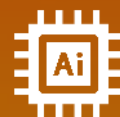
Mission

Make place Secure
Upgrade place Smart



Vision

AI x セキュリティで
新しい価値を創る



AI

(画像認識)



セキュリティ

01

会社概要

- 01 会社概要
- 02 業績ハイライト (FY2023)
- 03 業績見通し (FY2024)
- 04 成長戦略
- 05 Appendix

基礎情報

| | |
|--------|---|
| 会社名 | 株式会社セキュア（英文表記：SECURE, INC.） |
| 代表者 | 代表取締役 谷口辰成 |
| 設立 | 2002年10月（第2創業 2010年） |
| 資本金 | 540,827,100円（2023年12月末現在） |
| 本社 | 〒163-0220 東京都新宿区西新宿二丁目6-1 新宿住友ビル20F |
| 子会社 | SECURE KOREA, Inc.（当社100%） 株式会社ジェイ・ティー・エヌ（当社100%）※2024年1月5日取得 |
| 主な事業内容 | セキュリティソリューション事業 |
| 事業許可等 | 【一般建設業】 国土交通大臣許可（般-1）第27739号 建設業の種類 電気工事業 国土交通大臣許可（般-1）第27739号 建設業の種類 電気通信工事業 |
| 所属団体 | 一般社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会 一般社団法人 日本ディープラーニング協会 |

社員数



2023年12月末時点
役職員数：154名（連結）

※派遣・出向社員等含む

拠点



国内：8拠点 海外子会社：1社

「ソフト」と「ハード」で構成された物理セキュリティシステムを提供
顧客の求めるセキュリティニーズに応じて、AI（画像認識）を活用した付加価値を実装



※AI未実装のサービスも存在します

3つのカテゴリーでサービスを提供

主に「オフィス・工場・商業施設」などに対してセキュリティソリューションを展開

| | 1 | 2 | 3 |
|--------|---|---|---|
| | <h3>SECURE AC</h3> <p>入退室管理システム Access Control</p> | <h3>SECURE VS</h3> <p>監視カメラシステム Video Surveillance</p> | <h3>SECURE Analytics</h3> <p>画像解析サービス/その他</p> |
| 提供サービス | <p>* 主要商品</p> <p>入退室管理システム SECURE AC (画像認識実装)</p> <p>SECURE AI Office Base (画像認識実装)</p> <p>のぞき見ブロック (画像認識実装)</p> | <p>* 主要商品</p> <p>監視カメラシステム SECURE VS</p> <p>FaceTracker (画像認識実装)</p> <p>SECURE VSaaS</p> | <p>* 主要商品</p> <p>混雑COUNT (画像認識実装)</p> <p>vem count (画像認識実装)</p> |
| 売上構成比 | <p>FY2023 : 1,471百万円</p> <p>売上構成比率 : 28.4 %</p> | <p>FY2023 : 3,547百万円</p> <p>売上構成比率 : 68.3 %</p> | <p>FY2023 : 171百万円</p> <p>売上構成比率 : 3.3 %</p> |

02

業績ハイライト FY2023

- 01 会社概要
- 02 業績ハイライト (FY2023)
- 03 業績見通し (FY2024)
- 04 成長戦略
- 05 Appendix

FY2023

売上高累計

5,191 百万円

前年同期比
+53.4%達成率
101.8%

営業利益累計

187 百万円

前年同期比
+357百万円達成率
104.4%

- ✓ 売上高は業績予想を上回り着地し、前年同期比+53.4%の高成長を達成
- ✓ 来期以降の成長に向けた先行投資は積極的に実行し販管費は増加も、営業利益は前年同期比+357百万円の増益で業績予想を上回り着地
- ✓ セールス・マーケ人員は前期末比で+15名と最低限の目標人数の増員を達成
- ✓ 展示会や7月にオープンしたSECURE AI STORE LAB2.0等を通してレジレス・無人決済に関しての引き合いが拡大しており、FY2024も商談を継続
- ✓ 機能強化を目的としたジェイ・ティー・エヌ社の買収を実施(2024/1/5)

FY2024 見通し

売上高累計

6,250 百万円

前年同期比
+20.4%

営業利益累計

250 百万円

前年同期比
+33.0%

- ✓ 売上高は物理セキュリティに対する需要の拡大を取り込み継続成長
- ✓ セールス人員の質の向上を通し将来的な大規模案件の土台を作る
- ✓ 展示会等に対してはFY2023と同程度の投資を想定、新規顧客の獲得と新たな商材の販売を継続
- ✓ 利益はジェイ・ティー・エヌ社の連結効果を現時点では未反映

2023年12月期累計売上高は前年同期比+53%の成長、業績予想も上回り着地
成長に向けた先行投資により販管費は増加も、営業利益は187百万円で着地

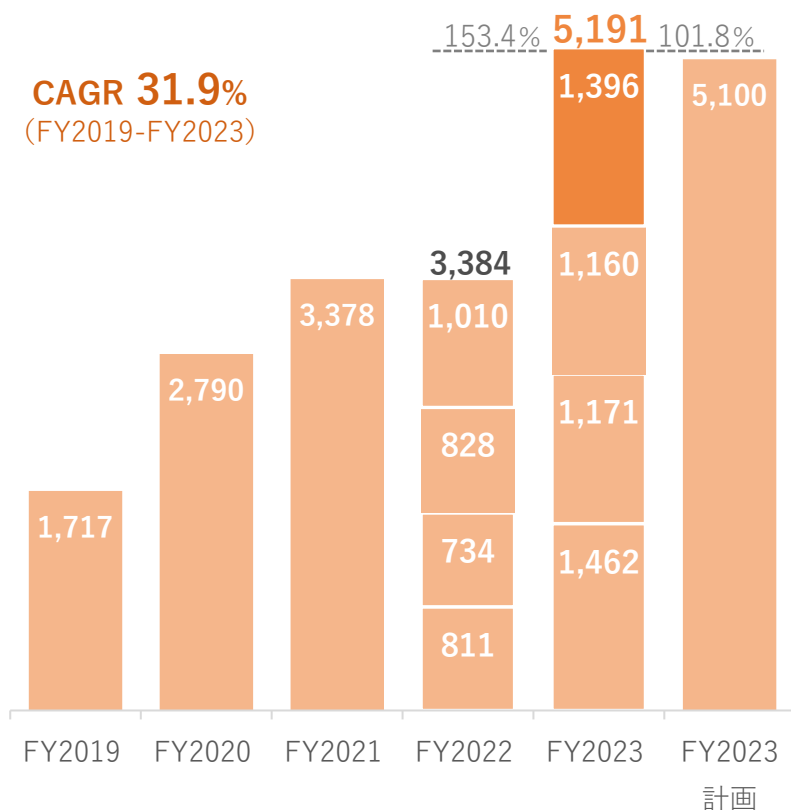
| (百万円) | FY2022 累計実績 | FY2023 業績予想* | FY2023 累計実績 | 前年同期比 (FY22-23比較) | | 業績予想 達成率 |
|--------------------------------------|----------------|-----------------|----------------|-------------------|--------|-------------|
| | | | | 増減額 | 増減率 | |
| 売上高 | 3,384 | 5,100 | 5,191 | +1,806 | +53.4% | 101.8% |
| SECURE AC (入退室管理システム) | 984 | 1,350 | 1,471 | +487 | +49.5% | 109.0% |
| SECURE VS (監視カメラシステム) | 2,268 | 3,600 | 3,547 | +1,278 | +56.4% | 98.5% |
| SECURE analytics (画像解析サービス) / その他 | 131 | 150 | 171 | +40 | +30.5% | 114.5% |
| 売上総利益 | 1,312 | - | 2,015 | +703 | +53.7% | - |
| 販売管理費 | 1,481 | - | 1,827 | +346 | +23.4% | - |
| 営業利益 | △169 | 180 | 187 | +357 | - | 104.4% |
| 営業利益率 (%) | - | 3.5% | 3.6% | - | - | - |
| 経常利益 | △183 | 165 | 175 | +359 | - | 106.3% |
| 税引前当期純利益 | △197 | - | 171 | +368 | - | - |
| 当期純利益 | △227 | 145 | 168 | +396 | - | 116.4% |

*業績予想は2023年11月10日発表

売上高は大型案件の納品、年末の駆け込み需要を取り込み計画を上回る着地
 為替・インフレ等の外部環境要因と棚卸資産の減損を計上したが、売上総利益率は前期水準を維持
 直近5年間のCAGRは31.9%

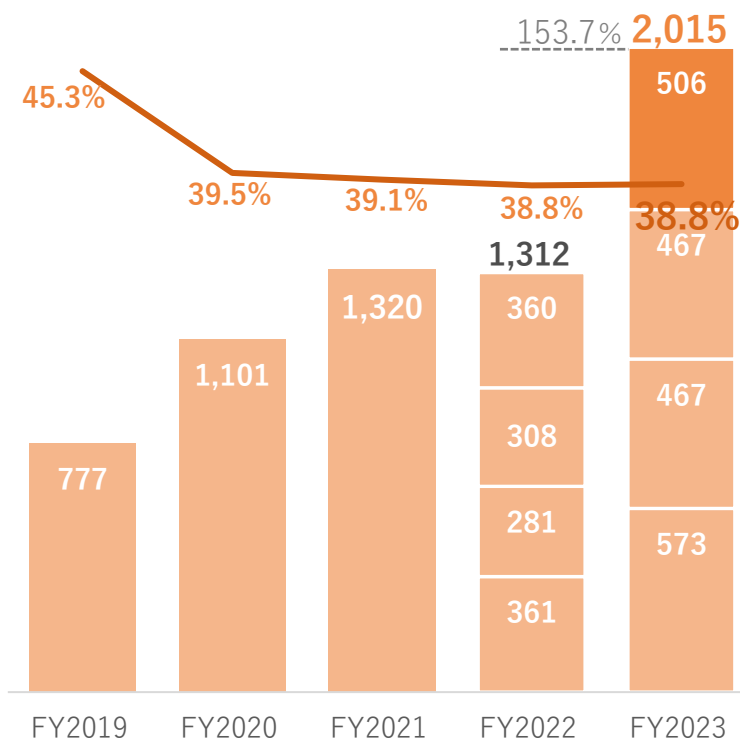
売上高

(百万円)



売上総利益・総利益率

(百万円・%)

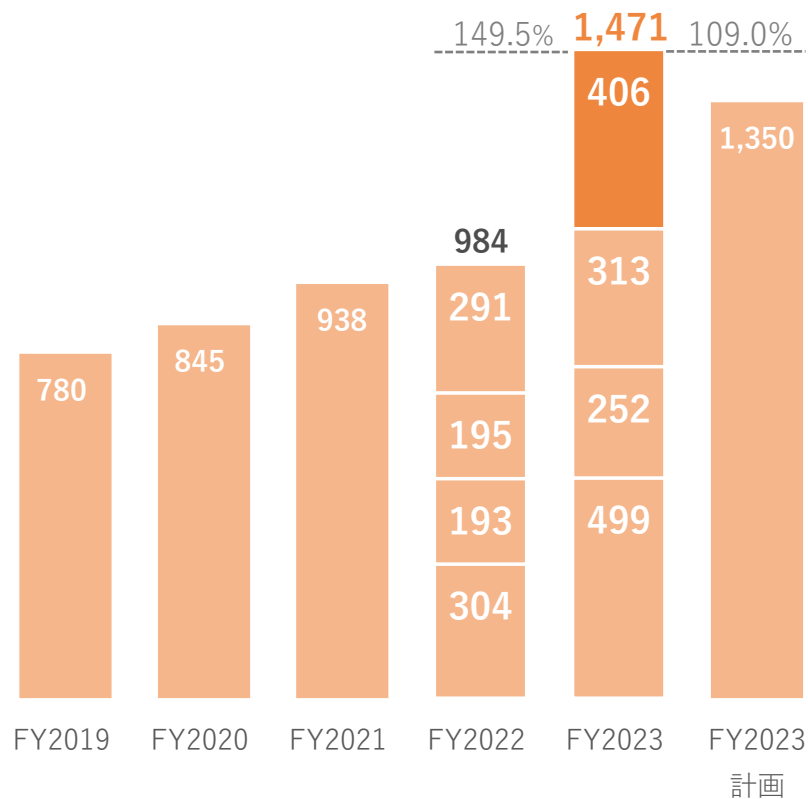


「SECURE AC」業績推移

前年同期比で大幅な増収を達成、小規模から中・大型案件へのシフトが進捗し案件単価も上昇
コロナも収束しオフィスマーケットの需要は回帰、データセンター・商業施設への導入も堅調

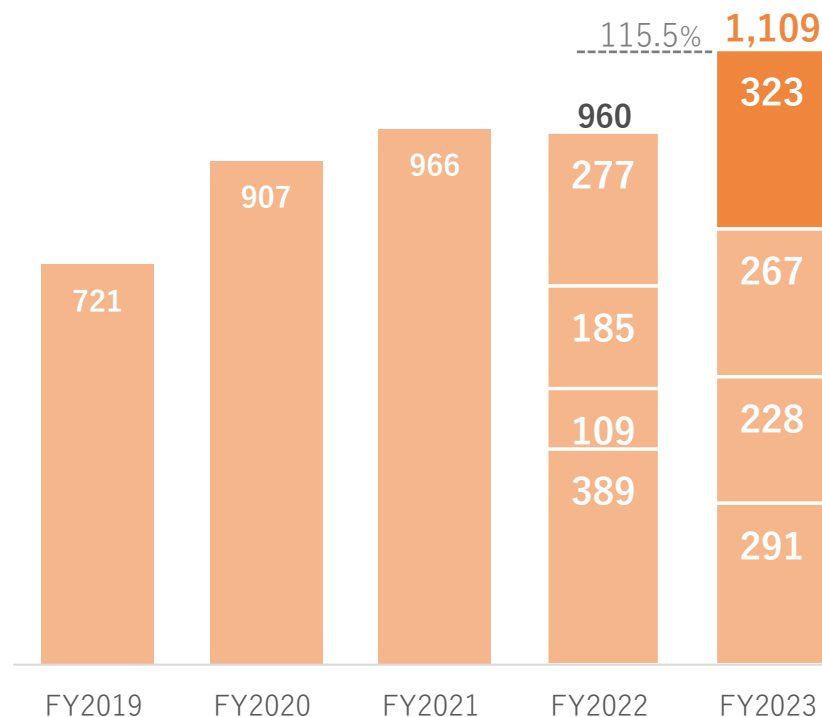
売上高

(百万円)



SECURE AC 導入件数

(件)



入退室管理の方法として、セキュリティへの意識や接触への意識の変化からカードキーや指紋認証ではなく顔認証への意識が高まっており、件数は前年同期比+44%の増加サービスの高付加価値化に伴い案件あたりの売上の拡大が期待される

カードリーダー



指紋認証



顔認証



- ✓ 紛失・なりすましのリスクの回避
- ✓ 接触による健康リスクの低減
- ✓ カード等の発行にかかる手間の削減
- ✓ 認証スピードの向上



社員のツールであるスマートフォンの有効活用としてスマホで入退室を

導入企業

エイベックス株式会社

事業内容

音楽事業、アニメ・映像事業、デジタル・プラットフォーム事業など

導入年月

2022年2月

- ✓ オフィス移転を機にカードを廃止し社用スマホと連携した顔認証による入退室システムに一本化
- ✓ カードの発行・回収等の手間を削減し、セキュリティ面のリスクを低減
- ✓ 従来利用していたシステムよりもスムーズな認証

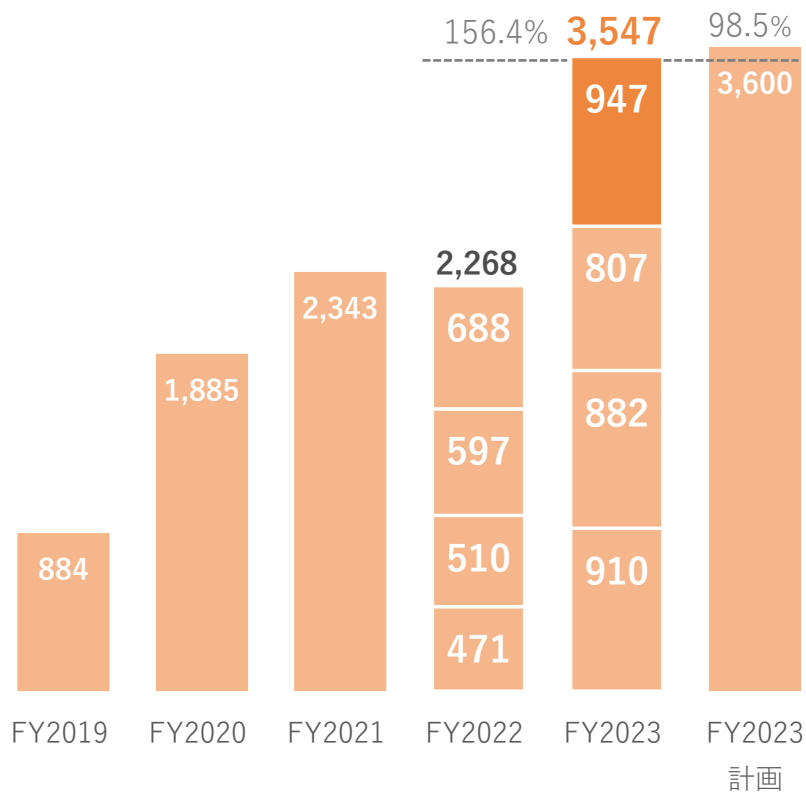
※ 事例詳細はHPをご覧ください。 <https://secureinc.co.jp/case/detail.html?id=1587>

計画に対して僅かに未達も前年同期比で大幅な増収を達成

ドラッグストアやコンビニ向け案件の受注拡大、また中小型案件も引き続き好調に推移

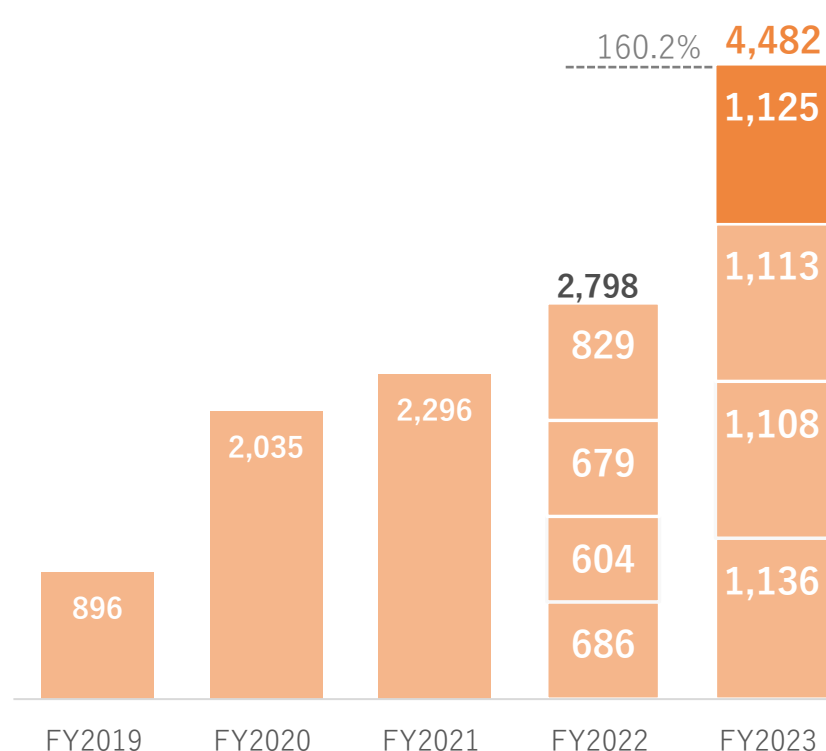
売上高

(百万円)



SECURE VS 導入件数

(件)

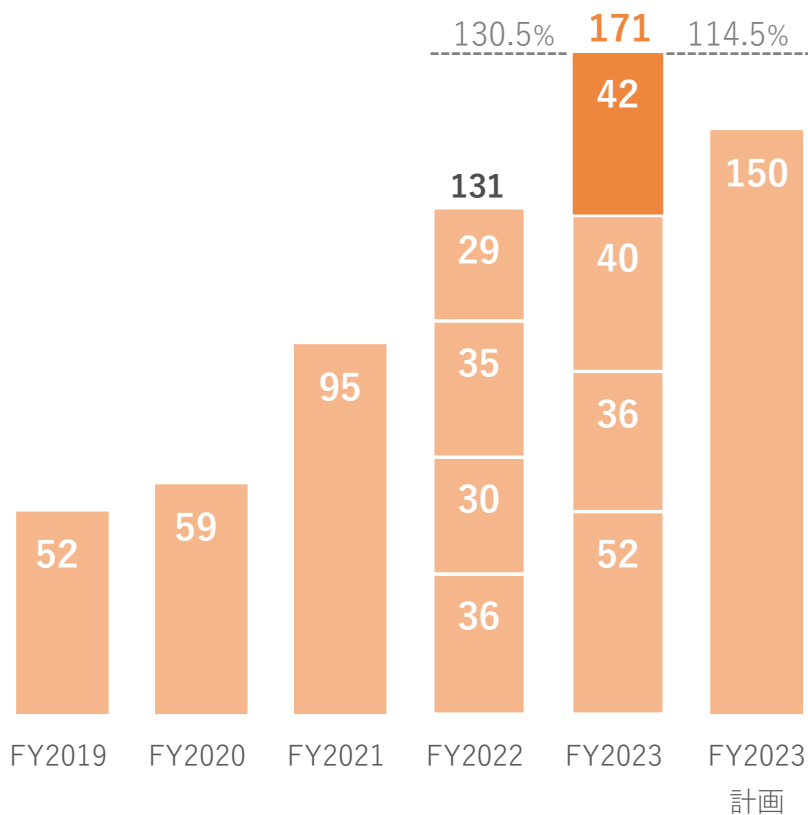


「SECURE Analytics/その他」業績推移

売上高は計画を大きく上回って着地し、前期比+30.5%と全体の成長率に貢献
 ショッピングモールにおける、客数分析によるマーケティングへの活用などAnalyticsの事例が増加

SECURE Analytics / その他 売上高

(百万円)



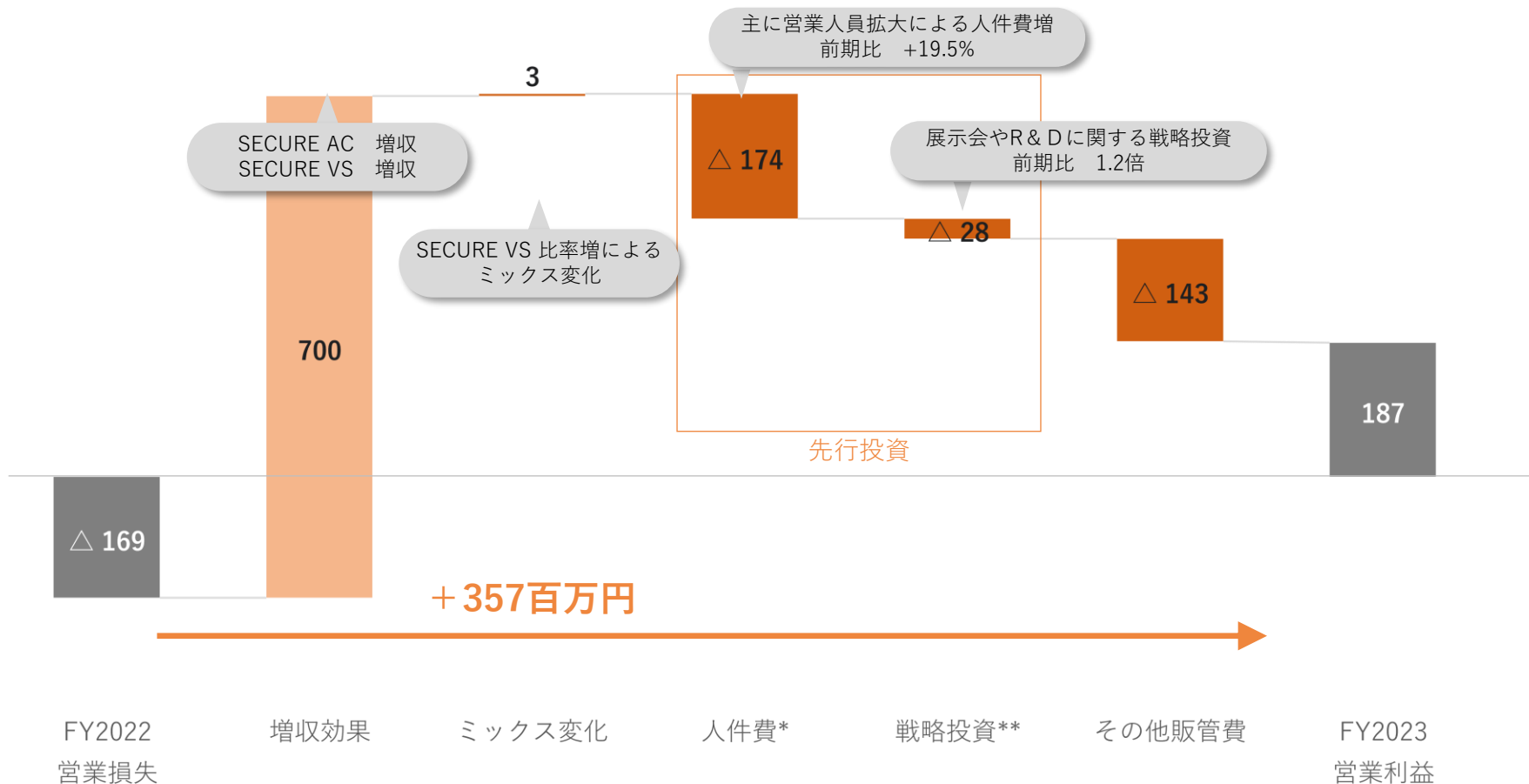
SECURE Analytics 導入事例



ショッピングモールにて出入口毎の通行人数を計測
 売上データと連携してマーケティングに活用

増収効果により営業利益は357百万円増の187百万円で着地

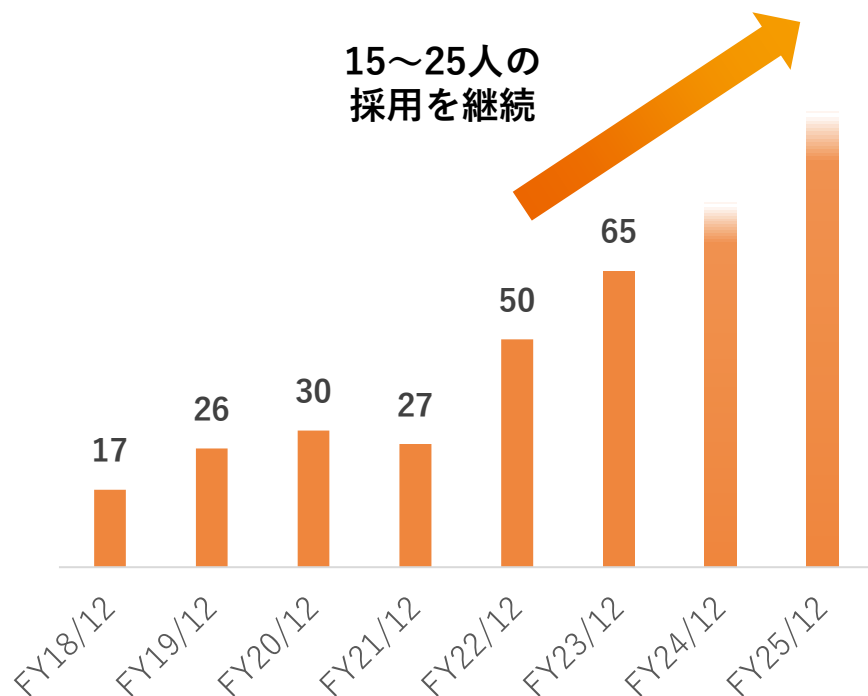
成長に向けた先行投資はおおむね計画通り実施、M&A関連費用の支出によりその他販管費も増加



*人件費 = 給与・賞与・法定福利費等 / **戦略費 = 広告宣伝費・研究開発費等

前期末対比で15名の増員、目標人数の最低限の増員は達成、引き続き新規採用は継続
セールス人員に向けた当社独自の研修制度を構築し、早期の戦力化を目指す
短期的にまずは100名体制を構築する

セールス・マーケティング人員数推移



セールス人員の成熟化までは約1.5~2年
先んじて採用を行い、業績拡大に繋げる

拠点拡大



- 22年7月名古屋オフィス開設
- 23年1月大宮・横浜オフィス開設
- 23年4月広島オフィス開設

基盤強化



- マーケティング活動の強化
- Security System Labにおける独自の教育制度
- 採用力の強化

NTT東日本グループテルウェル東日本との共同実験を開始

ウォークスルー型店舗の商用化実現に向けて両社のノウハウを用い実店舗を運営

新宿住友ビルにて実証実験を開始

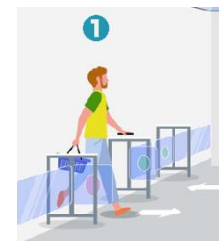


AI STORE LABで
未来の買い物を
体験しませんか？

所在地: 新宿住友ビル (大江戸線「都庁前」駅直結)
営業時間: 8:00~22:00
定休日: 土日祝

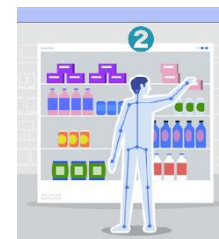
STEP 1

専用アプリをダウンロード
登録後、アプリに表示される
QRコードをかざすだけで入店



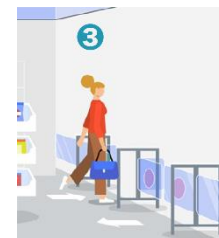
STEP 2

AIによる行動解析
15台のカメラの情報を統合し
正確に行動を把握
手に取るだけで商品を認識



STEP 3

そのまま退店するだけで
お会計が完了
決済情報はアプリに送信



事業の進捗状況 展示会への出展

来期以降の案件獲得のためのマーケティング投資として、本年度に5件の展示会に出展
12月には「第8回スマートビルディング EXPO」に出展、目標としたリードの獲得は達成



BIJ「働き方改革Week2023」出展ブース



「第8回スマートビルディング EXPO」出展ブース



「危機管理産業展2023 (RISCON TOKYO)」出展ブース

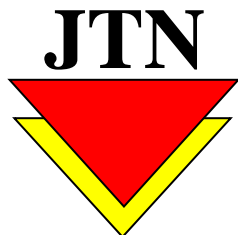


「リテールテックJAPAN2023」出展ブース



「フードセーフティジャパン (FSJ) 2023」出展ブース

神奈川県を中心に監視カメラの施工等を含む電気工事・電気通信工事を行うJTN社を買収
施工現場におけるシナジーを実現することで競争力向上や事業効率の向上を図る



名称 株式会社ジェイ・ティー・エヌ
所在地 神奈川県横浜市中区初音町 1-7-1
事業内容 電気通信工事業・電気工事業
取得価額 795百万円 (含むアドバイザー費用等)

| (百万円) | 2021年9月期 | 2022年9月期 | 2023年9月期 |
|-------|----------|----------|----------|
| 売上高 | 469 | 334 | 487 |
| 営業利益 | 144 | 27 | 84 |
| 純利益 | 99 | 25 | 53 |
| 純資産 | 324 | 349 | 402 |

本買収におけるシナジー

施工管理領域におけるノウハウの強化

ジェイ・ティー・エヌの持つ知見により、
施工の現場における原価の削減や管理の効率化を実現し、
当社の提供するサービスの競争力強化を図る

施工及び施工管理のキャパシティの拡充

設備工事のキャパシティが全国的に不足する中、
施工や施工管理の現場で動けるリソースを確保することで、
営業担当との分業体制を通じた営業部門の生産性向上や
一部の施工の内製化による収益性向上を図る

03

業績見通し FY2024

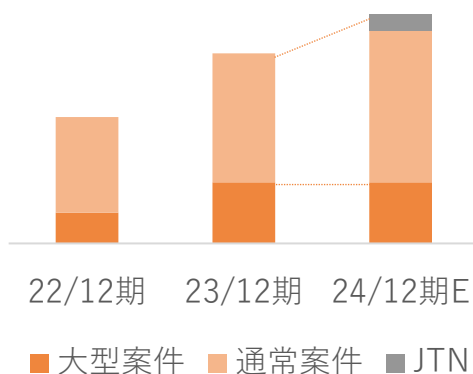
- 01 会社概要
- 02 業績ハイライト (FY2023)
- 03 業績見通し (FY2024)
- 04 成長戦略
- 05 Appendix

FY2023は高い成長率を実現したが組織はまだ未成熟

FY2024はオペレーション改善、人材育成等に重点的に取り組み、更なる成長の実現に向けて質の向上を図る

売上見通し

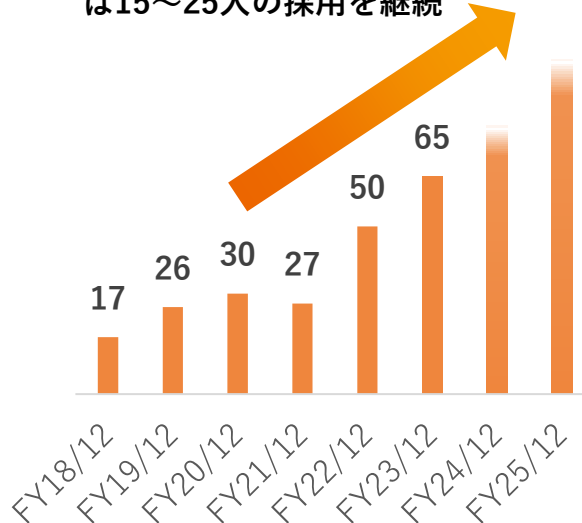
- ✓ FY2023は通常案件の伸びに加えて大型案件も昨対比で大きく成長
- ✓ FY2024については通常案件は前年同様の伸びを期待する一方大型案件はFY2023と同程度を見込む
- ✓ 更なる成長の実現に向けて、今期はオペレーション改善やより高度な案件獲得のため質の向上を図る



採用・育成

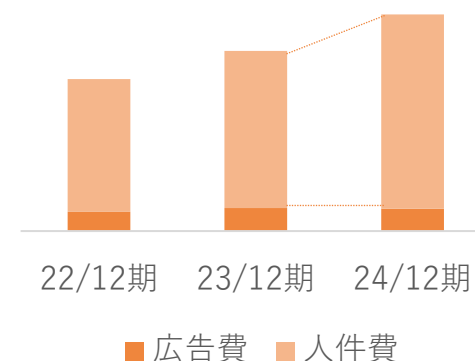
- ✓ FY2022から高いペースでセールス人員の拡大を継続
- ✓ 今期は将来的な大型案件獲得のため質的な向上への投資を増やす想定

セールス・マーケティング人員は15~25人の採用を継続



費用見通し

- ✓ FY2023は採用に伴う人件費増に加えコロナ禍からの環境改善を通して展示会等の広告投資が増加
- ✓ FY2024については広告投資は前年並みに留まる想定のため費用は人件費増が中心になる見込みだが、R&Dについては事業の進捗状況次第では追加投資を検討
- ✓ 採用・育成への積極投資は継続



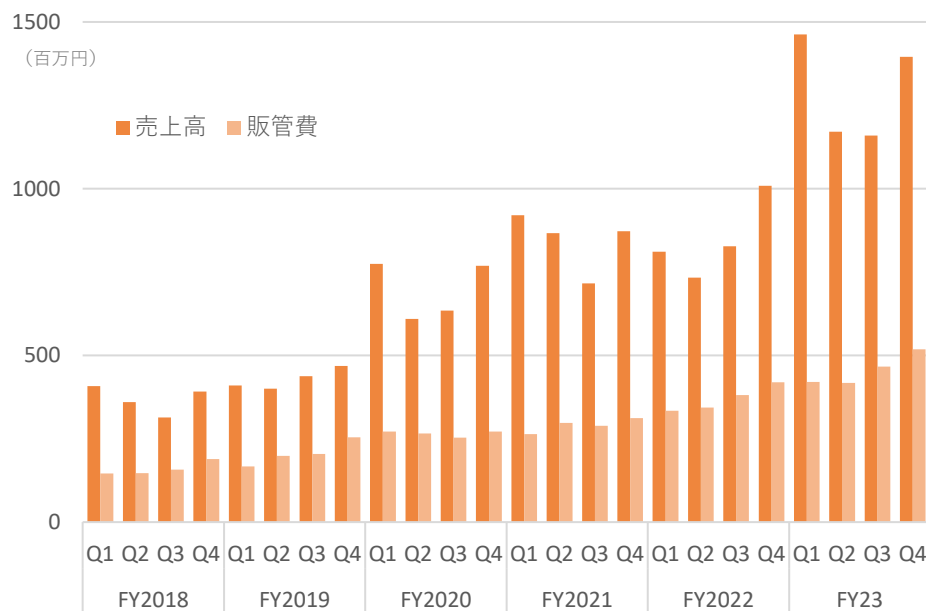
物理セキュリティに対する需要の拡大を背景に、年率20%の売上成長を見込む
 営業利益については人材への投資を継続するも前期比で33%成長の250百万円での着地見通し
 一方、利益はジェイ・ティー・エヌ社の連結効果を現時点では未反映

| (百万円) | FY2022 | FY2023 | FY2024 業績予想 | | |
|-----------|--------|--------|--------------|--------|--------|
| | 実績 | 実績 | 計画 | 前期比増減額 | 前期比増減率 |
| 売上高 | 3,384 | 5,191 | 6,250 | +1,058 | +20.4% |
| 営業利益 | △169 | 187 | 250 | +62 | +33.0% |
| 営業利益率 (%) | - | 3.6% | 4.0% | +0.4pt | - |
| 経常利益 | △183 | 175 | 230 | +54 | +31.1% |
| 税引前当期純利益 | △197 | 171 | 230 | +58 | +34.1% |
| 当期純利益 | △227 | 168 | 190 | +21 | +12.6% |

*業績予想は2024年2月14日に発表

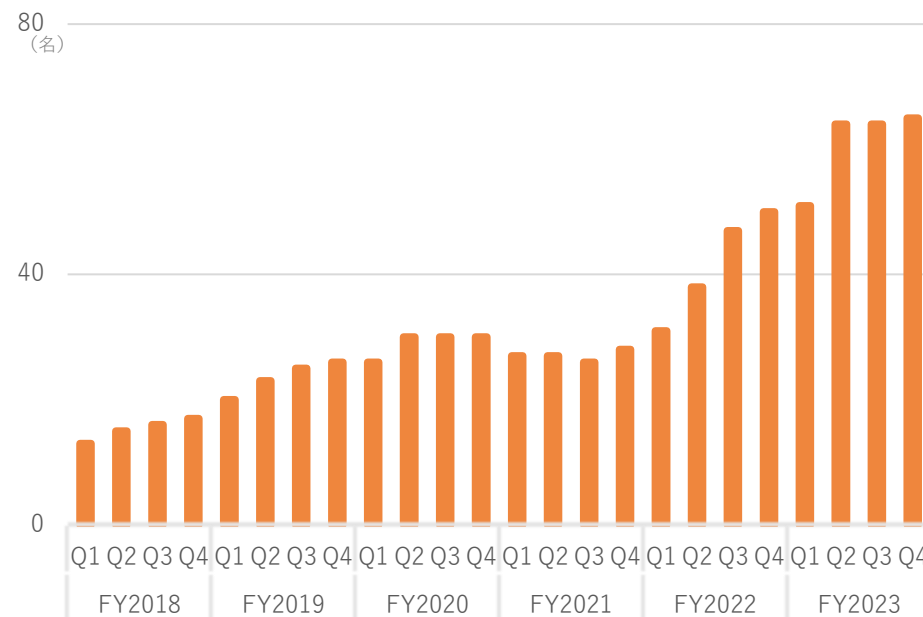
- ✓ FY2023はYoYで+53.4%成長。売上・利益共に過去最高を更新
- ✓ 前期末比で+15名の増員、採用活動は引き続き強化
- ✓ 採用したセールス人員は3か月～半年程度で寄与し始め、1.5～2年程度での習熟を想定
- ✓ 成長に向けた投資を継続し、営業体制強化や生産性向上に取り組む

売上高・販管費推移



売上高は季節変動性としてQ1、Q4が強め

セールス・マーケティング人員数推移



FY2022以降に採用したセールス人員は
1.5～2年程度での戦力化を想定

04

成長戦略

- 01 会社概要
- 02 業績ハイライト (FY2023)
- 03 業績見通し (FY2024)
- 04 成長戦略
- 05 Appendix

3つの成長戦略

① 既存ビジネス

パートナーの深掘・発掘

+

AI強化・SaaS強化

↓
継続成長
収益力UP

② Retail DX

AI STORE LAB
収益化

↓
新たな収益

SECURE

③ 海外展開

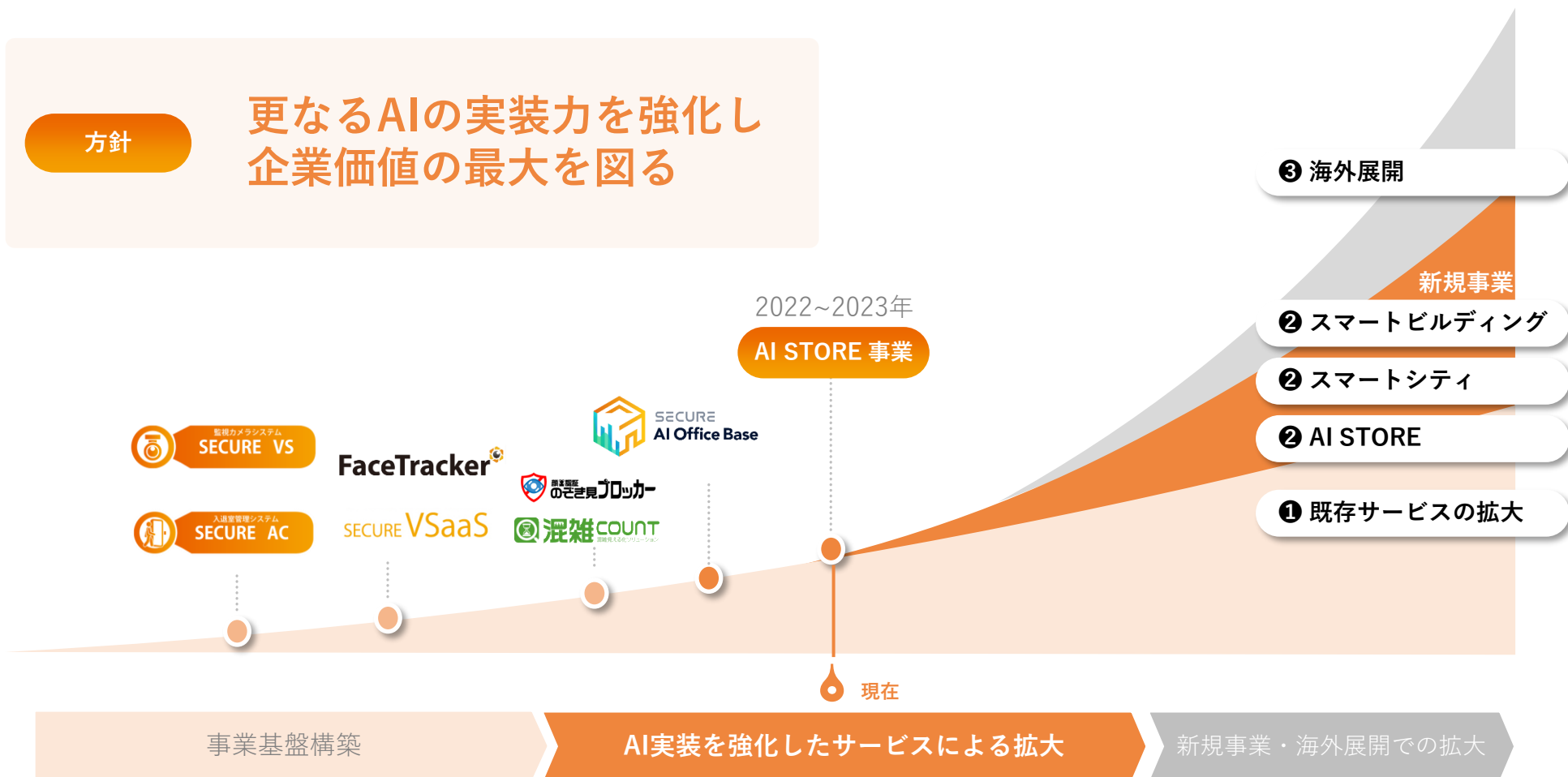
韓国・ASEAN
への展開

↓
市場の拡大

既存のセキュリティソリューション事業で基盤を固め、**SaaS型ソリューションやAI技術を活用した新規ビジネスで成長を加速**させ、安心安全でスマートな社会の実現を目指す。

方針

更なるAIの実装力を強化し
企業価値の最大を図る



05

Appendix

- 01 会社概要
- 02 業績ハイライト (FY2023)
- 03 業績見通し (FY2024)
- 04 成長戦略
- 05 Appendix



1 SECURE AC

入退室管理システム

オフィスや店舗・工場等にカードリーダーや指紋・顔認証などの入退室管理システムを提供。クラウド型のサービスではオフィスの利用状況や混雑度、社員の健康管理も把握可能。勤怠管理や在籍管理等も行える。

主な導入先



主にオフィス
へ導入

利用シーン

10-1,000名

オフィスセキュリティや
フィットネスなどでの
会員管理にも利用可能

特徴

段階的な拡張や
サテライトオフィス
等の多拠点管理にも
優れている

クラウド オンプレ

4.6% ← 95.4%

(FY2023)

クラウド強化中



2

SECURE VS

監視カメラシステム

数台の小規模システムから、10万台の超大規模システムまで、顧客ニーズに応じて様々なデバイスと顔認証等のAI（画像認識）を組み合わせて最適な監視カメラシステムをオンプレミス・クラウドで提供。

主な導入先



主に商業施設
へ導入

利用シーン

小売店での
万引き対策や
ビルや工場等の
セキュリティ対策

特徴

最大10万台超

カメラ台数4台程度の小規模システムから10万台超の大規模システムまで運用性の高いシステムを構築・提案

クラウド オンプレ

1.9% ← 98.1%

(FY2023)

オンプレ主体



3

SECURE Analytics

画像解析ソリューション

AI（画像認識）技術を用いて、商業施設やイベント会場、避難所などの混雑度を分析、予測するソリューションを提供。API連携で施設の混雑状況を外部掲示するなど柔軟な運用にも対応。

主な導入先



主に商業施設
へ導入

利用シーン

施設内の混雑状況を
リアルタイムで
Webサイトや
店頭サイネージ
で表示

特徴

SaaSモデル

1台から利用可能な
サブスクモデル
監視カメラの画像を
流用することも可能

クラウド オンプレ

100%

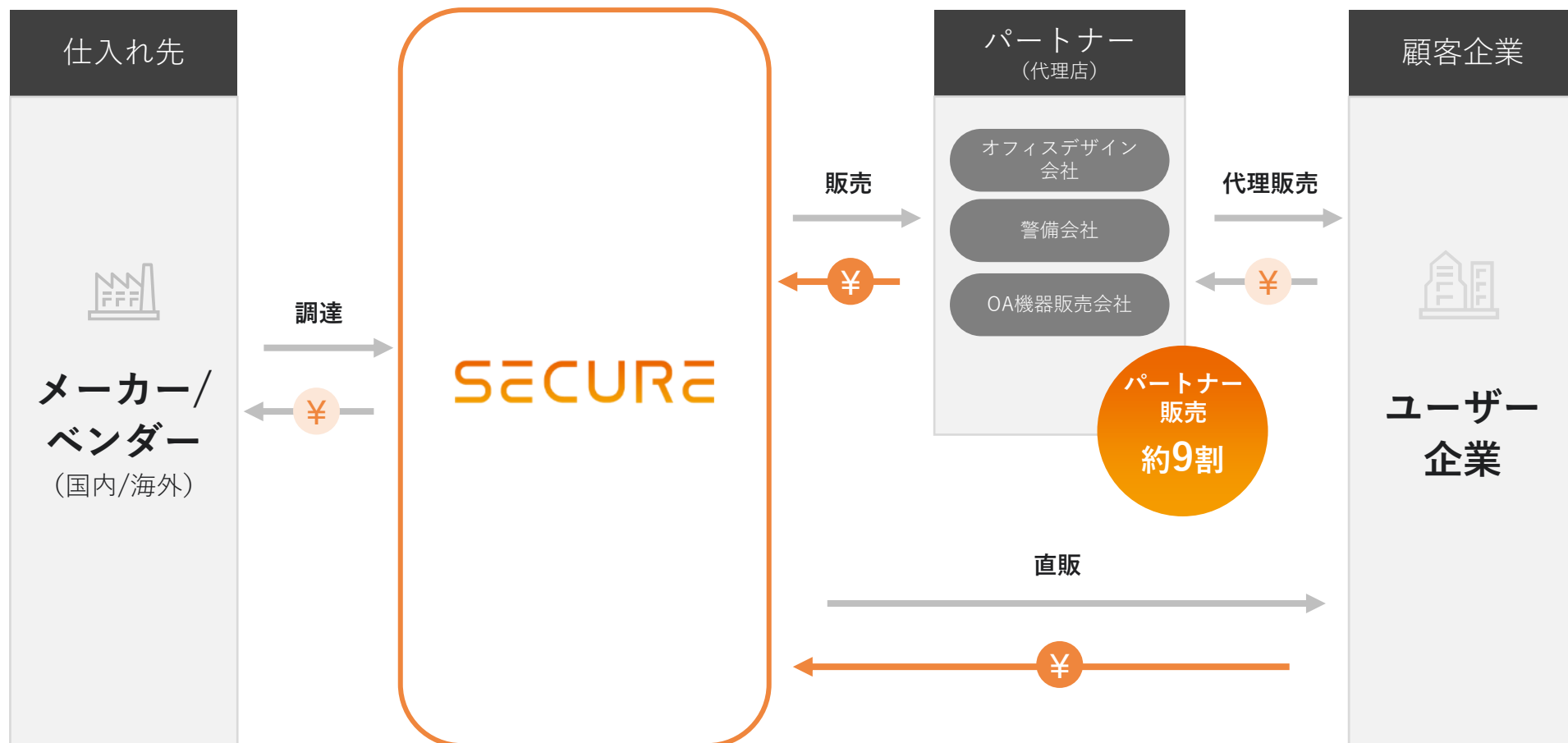
0%

(FY2023)

クラウド100%

| 該当事業 | サービス名 | 詳細 |
|-------------------------------------|-------------------------------|--|
| 1 AC (Access Control) | 入退室管理システム SECURE AC | IPベースのオンプレ型入退室管理システム 。カード認証またはAI（画像認識）を活用した顔認証・指紋認証等のID認証リーダーとサーバーのみの構成で拡張性に優れ、小規模から大規模まで対応が可能。 |
| 1 AC (Access Control) | SECURE AI Office Base | オフィスのフリーアドレス化やサテライトオフィスの活用等、新しいワークスタイルを実現する クラウド型入退室管理システム 。AI（画像認識）を活用して事前登録を行った社員の入退室管理の他、測温による健康管理や勤怠管理、オフィスの稼働状況、混雑度合、勤怠状況、勤務時の表情等様々な分析が可能。 |
| 1 AC (Access Control) | 顔認証のぞき見ブロックャー | パソコンのぞき見（ショルダーハッキング）による 情報漏えいをブロックするAI顔認証ソリューション 。登録者以外の顔を検知すると画面をロックし操作中の情報の機密性を担保する。パソコンへのアクセスをコントロールするという概念から、SECURE ACとして分類。 |
| 2 VS (Video Surveillance) | 監視カメラシステム SECURE VS | 幅広い製品群からクライアントの課題を解決する オンプレミス型監視カメラシステム 。アナログカメラ、IPカメラ、レコーダーなど多種多様なラインナップを揃えており、異なる規格のカメラであっても統合して運用することが可能。カメラ4台から10万台を超える大規模システムまで構築運用が可能。監視カメラの映像を分析する専用デバイスも提供。 |
| 2 VS (Video Surveillance) | SECURE VSaaS | 初期導入費用を抑え、必要に応じて拡張が可能な小規模向け クラウド型監視カメラシステム 。モバイルやPCで高画質な映像を確認することができ、7日間から90日間の録画プランを提供。防犯としての活用方法以外にも各店舗・事業所の業務遂行状況を本社で確認する等、一括管理も可能。 |
| 2 VS (Video Surveillance) | FaceTracker | AI顔認証技術を採用した 監視カメラ用顔認証ソリューション 。登録人物、非登録人物を識別し、外部への通知と顔情報を管理する。顔認証によるログ検知によって勤怠管理にも応用可能。 |
| 3 Analytics | vem count | AI（画像認識）専用ステレオカメラで施設の入退場者、 滞留人数を正確に計測するサービス 。ダッシュボードによる多拠点一括管理が可能。領域制限やアラート出力も可能。 |
| 3 Analytics | 混雑COUNT お出かけ先混雑ソリューション | AI（画像認識）専用ステレオカメラによって人数を計測し、5段階のアイコン表示で 混雑具合を見える化するサービス 。一般利用者向けにWebサイトにて各種施設（温泉・商業施設等）の混雑具合を表示させたり、従業員向けに社内ポータルサイト等にてカフェ・食堂等の混雑度合をリアルタイムで表示することが可能。運営開始後は蓄積した混雑度合のデータを解析し、1週間の混雑度合予測も可能。 |

オフィスデザイン会社・警備会社・OA機器販売会社等、企業におけるセキュリティニーズを瞬時に感知できる業種を中心に**200社超の販売パートナー網を構築、迅速なソリューションの提案が可能。**



オフィスデザイン会社・警備会社・OA機器販売会社等、企業におけるセキュリティニーズを瞬時に感知できる業種を中心に幅広い**200社超の販売パートナー企業**（一部抜粋）。
業界の大手企業が販売パートナーとなっており、大型案件の獲得にもつながる

**RICOH****KOKUYO****JVCKENWOOD****+200社以上**

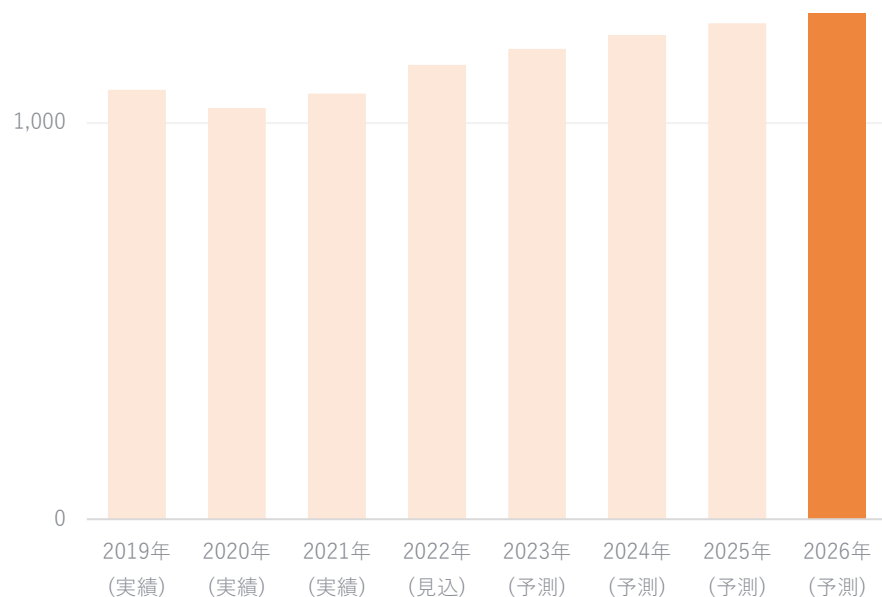
監視カメラ市場（国内）、入退室管理市場（国内）ともに堅調に成長。

監視カメラシステム市場（国内）

（億円）

2026年予測

1,278億円



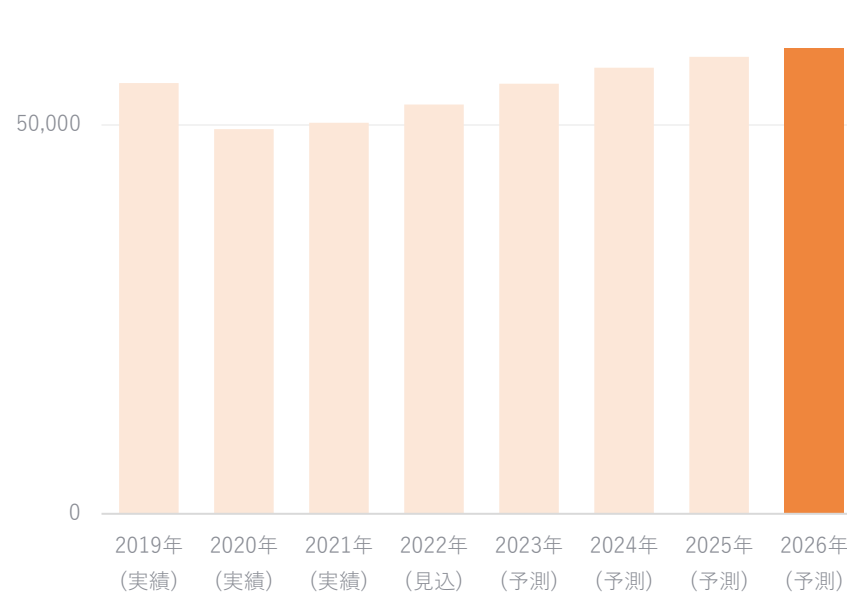
出典：富士経済「2022セキュリティ関連市場の将来展望」

入退室管理市場（国内）

（百万円）

2026年予測

599億円



出典：富士経済「2022セキュリティ関連市場の将来展望」

監視カメラ・入退室管理の市場は将来的にセキュリティ市場やIoT市場と融合し、高付加価値カメラが必須となり潜在台数は大きくなると予測。

多様化、複雑化するニーズには、ハードとソフトを統合したシステムを構築できる技術力が重要



重要な要素

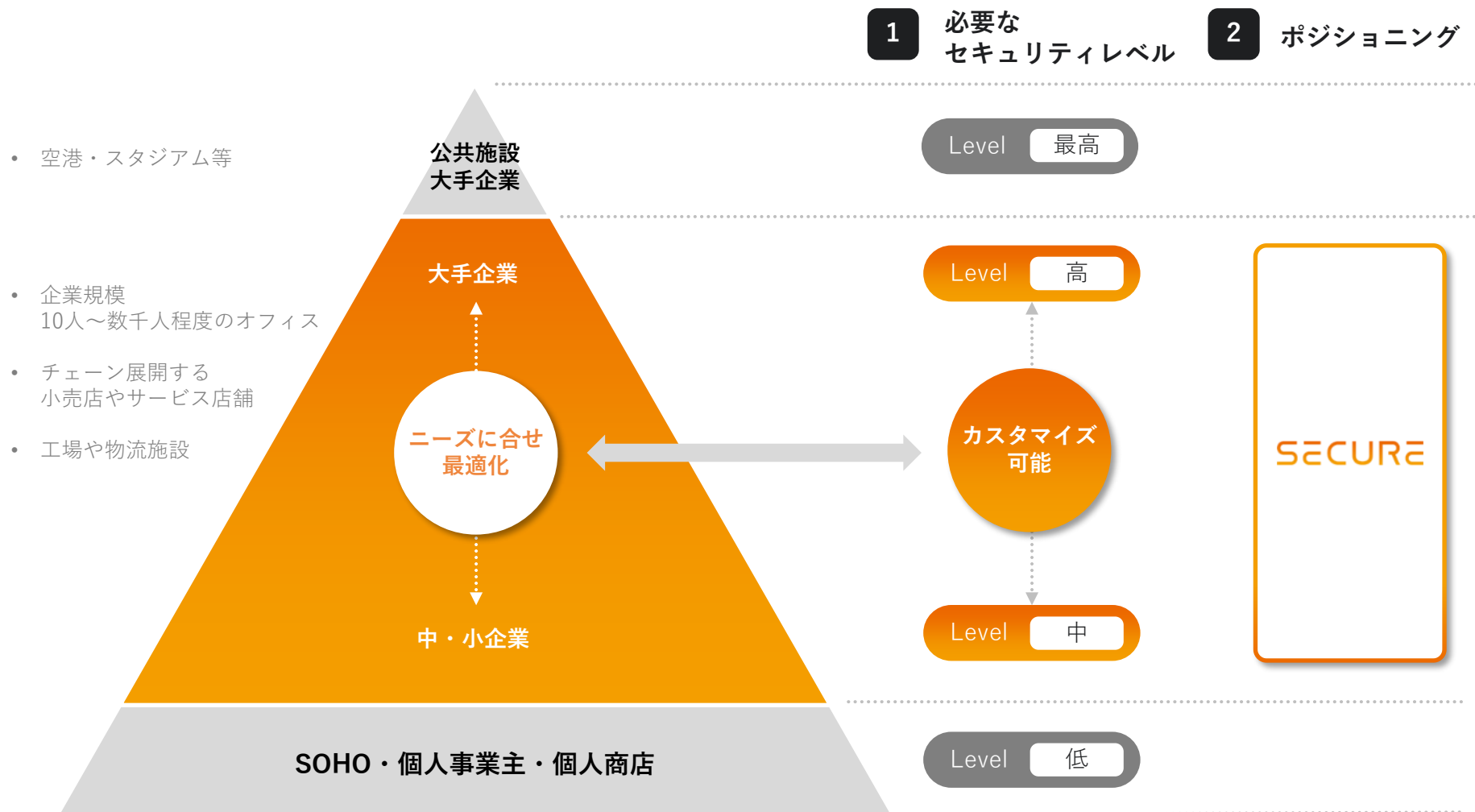
高

低

技術力・価値創造力（ハードウェアとソフトウェアの統合力）

出典：富士経済「2022セキュリティ関連市場の将来展望」およびIDC Japan「国内IoT市場予測」に基づき当社で作成

当社がメイン領域とする「中・小企業～大手企業」の領域で事業を展開するには、様々なデバイスでシステムを構築＋一定のセキュリティレベルが必須であり、**単一IoT事業者では開拓できない領域。**



企業の規模や業種等によって、**求められるセキュリティニーズは様々**であり、
 当社のソリューションは、そうした**様々なニーズに柔軟に対応**。

当社の
 ポジショニング

| | 対象 | 外部犯罪対策 | 内部不正対策 | 内部不正対策 認証取得 | 内部不正対策 法規制FISC,HACCP等 重要機密 |
|----------|--------|--|--|---|---|
| オフィス | 主な対策 | <ul style="list-style-type: none"> 遮断 | <ul style="list-style-type: none"> 入退室マネジメント ログの保存 | <ul style="list-style-type: none"> 高度な入退室マネジメント ログの保存 画像データの保存 | <ul style="list-style-type: none"> より高度な入退室マネジメント ログの解析 画像データの長時間保存 |
| | 推奨システム | <ul style="list-style-type: none"> 鍵・テンキー式ロック スマートロック | <ul style="list-style-type: none"> 入退室管理システム | <ul style="list-style-type: none"> 入退室管理システム 監視カメラシステム 顔認証、AI | <ul style="list-style-type: none"> 入退室管理システム 監視カメラシステム セキュリティゲート |
| | 対象 | 小規模店舗のレジや店内の簡易的なモニタリング | | | |
| リテール | 主な対策 | <ul style="list-style-type: none"> 遮断 | <ul style="list-style-type: none"> 入退室マネジメント ログの保存 | <ul style="list-style-type: none"> 高度な入退室マネジメント ログの保存 画像データの保存 | <ul style="list-style-type: none"> より高度な 入退室マネジメント 画像データの解析 画像データの長時間保存 |
| | 推奨システム | <ul style="list-style-type: none"> 鍵・テンキー式ロック スマートロック 簡易カメラ | <ul style="list-style-type: none"> 入退室管理システム 監視カメラシステム | <ul style="list-style-type: none"> 入退室管理システム 監視カメラシステム 顔認証、AI | <ul style="list-style-type: none"> 入退室管理システム 監視カメラシステム セキュリティゲート |
| | 対象 | | | レコーディング 高度なモニタリング | 万引きや内部不正 バイトテロ対策 |











導入企業数の推移

大規模商業施設からITベンチャー、食品工場まで9,900社以上の導入実績。
 様々なお客様の働く環境に、安心・安全とプラスアルファの価値を提供。



導入クライアント (一部抜粋)



| サービス提供の範囲 | A社 | B社 | 当社 |
|--|---|---|---|
|  画像認識 |  | |  一気通貫して対応可能 |
|  ソフトウェア | | | |
|  サーバ構築 | | | |
|  デバイス | |  | |
|  ネットワーク構築 | | | |
|  システム設計 | | | |
|  設置環境 | | | |
| アフターフォロー | | | |

画像認識からソフト・ハードや設置環境まで、それぞれ高い専門性を持っているので、リソースの無駄なくパフォーマンスを最大限に引き出したシステムの提供が可能

POINT

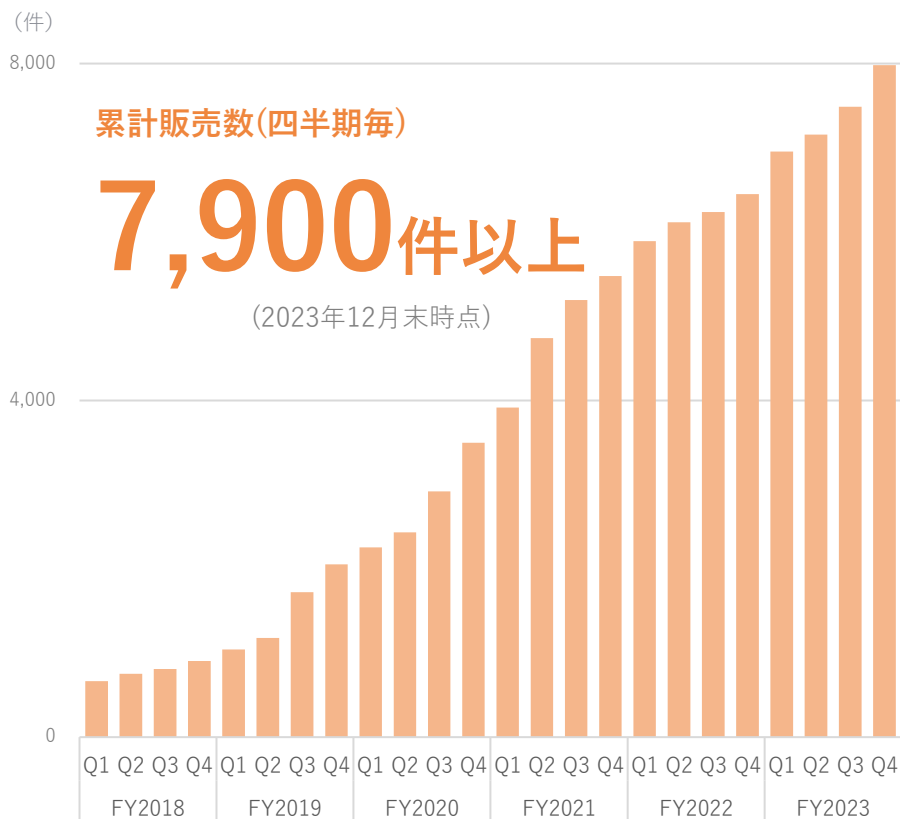
- 1,000種類以上のデバイスから最適提案
- パフォーマンスとコスト・品質の最適化
- オンプレ or クラウド
ニーズに合わせて提案

高度な顔認証・画像認識技術を活用し、顧客ニーズと世の中の流れを汲んだサービスを開発。

特に顔認証関連商品は、ライセンス・デバイス合わせて7,900件以上の導入実績。

非接触ニーズで需要の高まっている顔認証の国内シェアは数量と売上高でNo.1を獲得

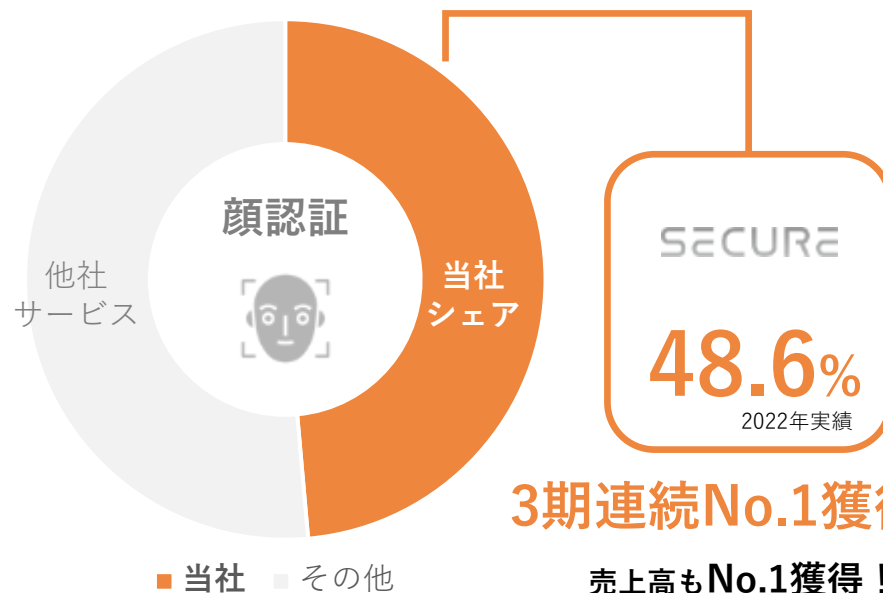
顔認証関連のサービスの概況



※ライセンス：「顔認証のぞき見ブロック」 「Face Tracker」の顔認証ソフトウェアライセンス
 ※デバイス：入退室管理システム導入時に設置される顔認証デバイス

顔認証国内シェア率（入退室管理用途）

オフィスやフィットネス
食品工場等で幅広く導入
コロナ禍の非接触ニーズで今後も需要高まる



3期連続No.1獲得！

売上高もNo.1獲得！

出典：富士経済 「2021~2022 セキュリティ関連市場の将来展望」「DXを実現するセキュリティ関連技術・市場の将来展望2023」の2020~2022年実績（数量ベース）

Security System Labでシステムの最適化の研究と専門人材の育成を行ない、
高度なセキュリティサービスを顧客にとって最適なソリューションとして提供できるように研究開発を実施。



多様な要素を常にアップデートし
システムの高度化を追求

人材育成

システム最適化



Security System Lab

監視カメラシステムの応用で独自開発した無人店舗を新宿住友ビルにて実証中。
誰がどんな商品を手に取ったかをAIが認識し、お会計は顔認証で手ぶら決済を実現。

コラボ第1弾 アットコスメ(20.7~21.3) 第2弾 小学館DIME(21.4~)

顔認証による入店・決済

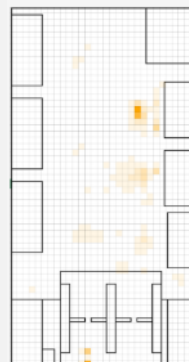


AI商品棚



手に取った商品を自動で認識し、AI商品棚にあるサインページ上の買い物かごに表示される。またネット上の口コミ情報も自動的に表示される。

インストアアナリティクス



購入前の来店者の行動を定量化。「手に取って購入しなかった商品」の情報も分析可能。



導入サービス SECURE AC

複数拠点 多フロアのオフィスを一元管理
18扉すべてを顔認証で入退室管理



導入企業

企業名 : スマートニュース株式会社

事業内容 : ニュースアプリ「SmartNews」の
企画・開発・運用

所在地 : 東京都渋谷区

導入年月 : 2021年 5月



SmartNews

従業員数

約500名

導入理由

- テレワークに対応できるシステムへの更新
- 新入社員の登録の煩雑さの低減
- フロアごとの在籍者管理をデジタルで実施したい
- 体温記録台帳の廃止

選定ポイント

- スピード・精度・コストに優れた顔認証システム
- 入退室の認証でストレスを感じさせない
- 運営コストも抑えつつ、堅固なセキュリティレベルを実現
- 今後の分析サービスのアドオンにも期待



導入企業



企業名 : 株式会社トライアルカンパニー
事業内容 : 小売/ソフトウェア開発/物流/商品開発・製造
所在地 : 福岡県福岡市
導入年月 : 2020年～順次

従業員数(グループ)

約5,295名

選定のポイント

- 運用性に優れた高度なモニタリングシステム
- 豊富なラインナップ+互換性
- データ損失のリスクに対応
- AI実装や他システムとの連携性に優れたスケラビリティ

導入サービス SECURE VS

店舗経営におけるロス率の削減を目指す

| | | |
|--|---|---|
|  Retail AIソリューション |  スマートショッピングカート |  リテールAIカメラ |
|  セキュリティ ソリューション |  セキュリティカメラ |  モニタリングシステム |

* AIによる万引き犯によるロス率の分析や削減を目指した実証実験進行中

導入サービス SECURE AC

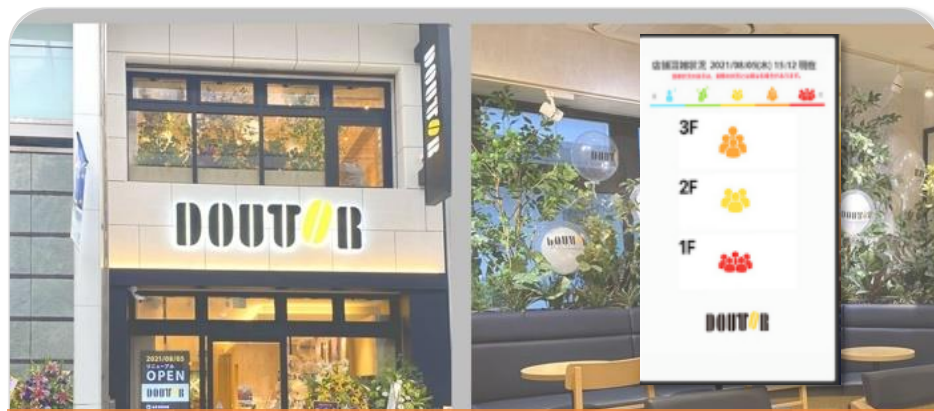
トライアルグループのAI拠点である「リモートワークタウン宮若」の施設内に顔認証をはじめとした**入退室管理システム SECURE AC**を導入



顔認証



指紋認証



混雑見える化で安心して入店

導入サービス SECURE Analytics

● クラウドアプリでいつでもどこでも混雑状況を把握することが可能

*監視カメラ映像とインターネット環境があれば利用可能です。
*現地にサーバーの設置は必要ありません。



導入企業



企業名 : 株式会社ドトールコーヒーのフラン
チャイズ加盟店である
マルエイフーズ株式会社

所在地 : 高知県高知市

導入年月 : 2021年 8月

導入理由

- ・ 新型コロナウイルスなどの感染症拡大の影響により、来店客数の減少を予測して店舗DXを検討
- ・ 感染対策や従業員のオペレーション改善
- ・ 群衆や混雑の見える化を行いたい
- ・ 感染対策や従業員のオペレーション改善
- ・ 店内の混雑状況を計測を行える
- ・ 来店客が1階から3階の店内全フロアの混雑状況を事前に確認できる
- ・ 従業員がスムーズに来店客を空いている席へ案内することが可能になった

| (百万円) | FY2021 実績 | FY2022 実績 | FY2023 実績 | 前期末比 増減額 |
|-------------|--------------|--------------|--------------|-------------|
| 流動資産 | 1,683 | 1,651 | 2,408 | +757 |
| 現金及び預金 | 675 | 474 | 808 | +334 |
| 受取手形及び売掛金 | 497 | 459 | 786 | +327 |
| 商品 | 455 | 621 | 725 | +104 |
| 固定資産 | 297 | 341 | 341 | △0 |
| 総資産 | 1,981 | 1,993 | 2,749 | +756 |
| 負債 | 998 | 1,150 | 1,727 | +576 |
| 買掛金 | 237 | 227 | 342 | +115 |
| 有利子負債* | 476 | 603 | 874 | +271 |
| 純資産 | 983 | 842 | 1,022 | +180 |
| 自己資本比率 | 49.6% | 42.3% | 37.2% | △5.1pt |

*有利子負債 = 短期借入金+1年内返済予定長期借入金+長期借入金

| (百万円) | FY2021 | FY2022 | FY2023 | 前期末比増減 |
|-------------|--------|--------|------------|--------|
| 営業キャッシュフロー | 122 | △268 | 99 | +367 |
| 投資キャッシュフロー | △70 | △144 | △36 | +108 |
| フリーキャッシュフロー | 51 | △413 | 63 | +476 |
| 財務キャッシュフロー | 252 | 210 | 270 | +60 |
| 現金及び現金同等物 | 675 | 474 | 808 | +334 |

【ご参考】 財務ハイライト

SECURE

| | | FY2016* | FY2017* | FY2018* | FY2019* | FY2020 | FY2021 | FY2022 | FY2023 |
|-----------------|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 15期 | 16期 | 17期 | 18期 | 19期 | 20期 | 21期 | 22期 |
| 売上高 | (千円) | 998,292 | 1,383,684 | 1,473,179 | 1,717,077 | 2,790,181 | 3,378,576 | 3,384,508 | 5,191,074 |
| 経常利益 | (千円) | △123,965 | 39,304 | 66,109 | △56,570 | 27,637 | 148,041 | △183,605 | 175,425 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | (千円) | △140,387 | 31,525 | 46,750 | △47,191 | 33,032 | 131,476 | △227,627 | 168,790 |
| 資本金 | (千円) | 227,000 | 227,000 | 227,000 | 294,000 | 294,000 | 490,213 | 536,808 | 540,827 |
| 発行済株式総数 | (株) | 120,554 | 120,554 | 120,554 | 138,054 | 138,054 | 4,590,620 | 4,717,020 | 4,744,920 |
| 純資産額 | (千円) | 41,032 | 71,950 | 119,313 | 421,740 | 455,236 | 983,086 | 842,138 | 1,022,308 |
| 総資産額 | (千円) | 602,748 | 577,176 | 786,339 | 1,261,002 | 1,468,294 | 1,981,467 | 1,993,000 | 2,749,733 |
| 1株当たり純資産額 | (円) | 340.37 | 596.83 | 989.71 | 19.84 | 29.10 | 214.15 | 178.53 | 215.42 |
| 1株当たり当期純利益 | (円) | △1,164.52 | 261.51 | 387.80 | △13.04 | 7.98 | 31.67 | △48.52 | 35.67 |
| 自己資本比率 | (%) | 6.8 | 12.5 | 15.2 | 33.4 | 31.0 | 49.6 | 42.3 | 37.2 |
| 自己資本利益率 | (%) | - | 55.8 | 48.9 | - | 7.5 | 18.3 | - | 18.1 |
| 営業キャッシュ・フロー | (千円) | - | - | - | △145,328 | △132,113 | 122,231 | △268,301 | 99,185 |
| 投資キャッシュ・フロー | (千円) | - | - | - | △40,341 | △83,268 | △70,779 | △144,709 | △36,117 |
| 財務キャッシュ・フロー | (千円) | - | - | - | 471,241 | 90,585 | 252,140 | 210,163 | 270,575 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | (千円) | - | - | - | 496,345 | 372,110 | 675,933 | 474,194 | 808,950 |
| 従業員数 | (人) | 51 | 48 | 57 | 68 | 91 | 98 | 113 | 154 |

※FY2019までは単体でFY2020より連結の数値、FY2018までは監査を受けていないため参考数値

- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。将来予想に関する記述には様々なリスクや不確実性が含まれており、その結果、実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。
- これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内及び国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。